



養父市

養父市農業の魅力発信

農業委員会だより



No. 3

令和2年12月
発行



養父市農産業の未来に向かって



今年の作柄

関係機関に聞きますと、南但地域の令和2年産水稻は、7月の梅雨が長く、8月の高温による影響もあり、平年並みからやや少ない収量でした。特に田植日が、5月中旬以降のものは、莖数が少なかったため、穂数も少ないものが多くみられました。出穂期以降は、高温により籾の充実に影響がみられ、乳白などが原因で、等級低下の要因となっています。また今年は長梅雨の影響で、草丈が長く葉色も濃いものが多く、登熟期後半に倒伏するものがあり、栽培管理が難しい年でした。

第2号 もくじ

- お米食味会 会長賞受賞者の声…………… ② ③
- 令和3年度予算に向けた意見書を提出…………… ③
- お知らせ…………… ④



お米食味会 会長賞受賞者の声

私のこだわり水稻栽培

上田 力さん

本年2月に開催されたお米食味会において、名誉ある会長賞を受賞しました。米作りでは少しでも美味しい米を消費者に提供したいとの思いが若干ながらもかなえられたと自慢でもあり、農家として名誉なことでもありました。が、さらなる美味しさを求めて期待に応えねばとプレッシャーを感じたことも事実です。私は、蛇紋岩地帯の一角である八鹿町八木地区の60aでコシヒカリを作付しています。自身の米作りの基本は「安心して美味しく食する」こだわりの水稻栽培です。



1 「土壌・水質の良さ」とワラ・もみ・ヌカ等の有機的成分の活用

土壌は粘土質、水は氷ノ山水系と地域的に恵まれた農地でもあり、肥料分の保有率の高さを生かしてワラ・もみ・ヌカ等の有機的な肥料を土壌に還元することを基本に、化学肥料とのバランスを図っています。また、消費者の健康志向に応じ、最小限の農薬使用に心がけています。

2 収穫後の籾管理

籾管理は、美味しさを保持する大切な過程です。特に乾燥時には、乾燥機の通風と火入れに注意しています。また、伝統的乾燥でもある天日干しにも挑戦し、太陽の恵みを受けた美味しい米作りに努めています。

3 玄米保管と時間をかけた精米

玄米はお米の保管に適した温度で保冷管理し、精米はそのお米の美味しさや水分量を落とさないよう時間をかけた循環式精米機を使用しています。

今年の新米では神戸のある知人から「いままで米粒を食べなかった子どもが美味しいと食べるようになった」と聞き百姓冥利につきる思いでした。



思いがけない会長賞受賞

中央ファームさん

市内4地域に出品を依頼し、もう1品に中央ファームの米を用意しました。食味会では、精米などの条件を同一にして審査が行われました。審査の結果、三品が会長賞受賞の運びとなり、私の中央ファームの米が受賞し、嬉しいのか申し訳ないのか、農業委員であり、また食味会担当委員として複雑な思いがしました。

コメの栽培は特別な栽培方法はとっていませんし、収穫圃場別に管理も致しておりません。圃場により条件は変わりますが、たまたま良い条件の米がピックアップされたのでしょう。

栽培履歴、堆肥散布は5年以上になり、秋の耕起は天候により行わない年もあります。春になり畦塗、耕起周辺の草刈り、代掻きなどは通常どおり行い、田植えですが、一発肥料、除草剤、などは同時散布で、四条植えで通常速度にて植え付けます。10アール当たり、苗箱は14枚程度にして株間を広く取り薄植えにします。秋の倒伏予防のため、肥料はJA標準の半分、除草剤は標準で、三年で農薬の種類を換えています。



除草剤の効かない草の目立つ場所のみマメットを使用します。中間管理は天候次第ですが、中干は十分に行い収穫時に困らないようにしています。カメムシの予防農薬は散布していません。薬品が高価であり効能や散布時期の不安などがあります。

収穫乾燥調整後、玄米を色選機にかけます。アムナックに依頼しています。

保管は冷蔵庫で、精米にはコイン精米機を利用します。

お米食味会 会長賞受賞者の声

水稻栽培について

長岡 徹治 さん

こだわり 先祖伝来の農地で栽培すること

主に耕作している場所は、養父市三宅 クサリ山というところで、字全体の面積は、約2ヘクタールに、5人の耕作者がいます。この区域は、もとは、数十枚の棚田でしたが現在は、16枚の圃場整備田（不整形・従前地方式による配分）となっています。

もともとこの区域は、蛇紋岩土質でおおわれており、地滑りの起きやすいところでもありましたが、ここで取れるコメは、三宅地区内他の区域で取れるコメよりもおいしいといわれてきております。土質による影響もさることながら、標高も他より高いところであり寒暖の差、水も八木川からでなく、主に蛇紋岩土質から湧き出る山水を取り込んでいることも、食味に影響を与えているのではないかと考えています。

先祖から受け継ぎ、圃場整備を経て現在も変わらず耕作を続け、今後（いつまで続けられるか…）も、おいしい米づくりをと考えています。



栽培の概要

- 苗づくり 専業農家より購入
- 収穫後 生モミをライスセンターに搬送、乾燥・粳摺り調整後出荷
- 規模 77a
- 品種 コシヒカリ
- 場所 養父市三宅 字クサリ山

土づくり、工程、農業、生育期間中の栽培管理については、「JAたじま 蛇紋岩米部会 稲作暦」による。

令和3年度予算に向けた 意見書を市長に提出



詳しい内容につきましては、養父市ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

令和2年7月6日、「農地等利用最適化推進施策に関する意見書」を広瀬市長に提出しました。

これは農業委員会等に関する法律の規定に基づき、農地等利用の最適化を効率的かつ効果的に実施するための必要な施策等について市に意見書を提出するものです。

～ 意見書の概要 ～

1 多様な担い手の確保・育成について

- 担い手対策について
- 農業用機械や農業用施設の整備に対する助成について
- 兼業農家・小規模農家への支援について

2 農地利用の最適化の効率的推進について

- 人・農地プランの策定に係る体制強化について
- 農地・農業用施設の維持管理の対策について

3 その他

- 有害鳥獣被害の対策について
- IT技術の導入、農地情報データの構築等について

お知らせ



1. 活動報告

● 農地パトロールを実施

- ・高齢化等による離農者の増加に加え、設備投資の負担が大きく収益を上げにくいことから農業離れが進み、ほ場整備田ですら荒れてきている。
- ・大規模農家や企業の誘致ができるよう情報発信するとともに、小規模農家に対する補助制度の拡充が必要である。
- ・地域農業の課題を地域全体の問題ととらえ、集落営農設立や地域をあげた体制づくりを進めることが重要である。



2. 活動予定

● 農業者との意見交換会

農業に携わる地域農業者の生の声を今後の農業政策へ反映させるため、毎年、農業者と農業委員会との意見交換会を実施しています。

本年度も令和3年2月頃の開催を予定しています。



本年2月の意見交換会の様子



3. コロナ関連支援

● 家賃支援給付金のお知らせ ～農地の賃料の申請者向け～

「家賃支援給付金」は、新型コロナウイルス感染症拡大により、特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を下支えするため、地代・家賃の負担軽減を目的に支給するものです。

給付対象

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、売上高が減少した事業者が対象になります。

給付額

申請時の直近に支払った、農地を含む土地や建物の支払賃料（月額）※の合計に基づき、所定の方法で算出された給付金が、一括で支給されます。

※賃料が年払いの場合は、12で割った額（平均月額）。また、賃料の支払実績が必要です。

詳細については、「家賃支援給付金コールセンター」へ連絡、または「家賃支援給付金ホームページ」へアクセスしてください。

● 家賃支援給付金コールセンター 0120-653-930

● 家賃支援給付金ホームページ

<https://yachin-shien.go.jp/index.html>

家賃支援給付金

検索